

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名 西口 和成

研修会名

TRCセミナー「岐路に立つ図書館」

日時

11月7日 13時00分～

場所

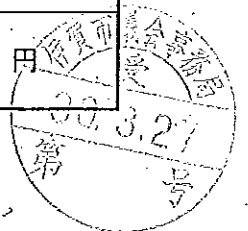
横浜市パシフィック横浜3ネットワークホール

【研修の成果】

別紙参照

費用

旅費：26,620 円 研修参加費： 0 円 合計：26,620 円



研修報告書

『岐路に立つ図書館～3つの視点から進化の方向を探る～』

図書館流通センター・図書館総合研究所

研修目的

図書館の在り方や今後の図書館の役割について学ぶことにより、伊賀市における独自の図書館の在り方や活性化を図ることが目的である。

所見

① 茂木健一郎 氏 (脳科学者)

「今、ここからすべての場所へー図書館のクオリア」

書物は、時間と空間を超えたネットワークを媒介するものであり、図書館は様々なネットワークのつなぎ手となっていくことが大切である。廃校利用を利用したり、公民館機能をもたせるなど充実させるなどコミュニティの演出が要である一方、図書館で学ぶ様々な事象が子どもの脳に影響を与えることこそが重要。図書館は、いろいろな体験をさせなければならない空間である。

② 宮脇淳 氏 (北海道大学大学院法学研究科教授)

「図書館と自治体政策の再生」

従来の自治体政策展開が蓄積したリスクに加え、新たな環境がもたらすリスクにも対応する中で、自治体が運営する図書館をいかに再生するのか。そのためには、持続性(進化)、公共サービスへの投資リスクの管理、将来に向けた生産性の効率化、質の向上と資源の管理が重要。情報の質は、常に変化しているため、行政や企業、地域住民、NPOなどの連携が必要である。情報の蓄積と伝達が、人間行動を決定する中核的要素であり、様々なコミュニケーションをとることが、多様な価値観を生み出す。その場所が図書館である。地域住民に図書館を広く認識してもらう政策が、常に必要である。

③ 湯浅俊彦 氏 (立命館大学大学院文学研究科教授)

「図書館という『メディア』の可能性」

情報化、多機能化、民間化等も含めた図書館という「技術」が進展する中で、図書館はどこを目指しているのか。図書館という「メディア」の在り方は、出版の領域を超える必要があり、図書館の領域も越えなければならない。デジタル化こそが一つの手段である。メディアは、常に変化し続けているため、知識情報基盤の変化の中から電子資料を位置づけることが重要。利用者に対する実践的な課題を探求し続けることも重要であり、図書館の未来は、利用者が決定しなければならない。

旅費請求書続紙（生中議員、赤堀議員、西口議員）

出張月日	出発地	経路	到着地	鉄道・船・車賃				食卓料	日当		宿泊料		出張理由 (目的・場所)
				行程	運賃	特急料金 急行料金	寝台料		日数	額	宿泊	額	
11月7日	伊賀神戸	近鉄	名古屋	112.2	1,560	1,320						TRCセミナー 「町の課題を解決する図書館」 (横浜市西区: パシフィコ横浜 アネックスホール)	
	名古屋	JR 新幹線	新横浜	337.2		4,630							
	新横浜	JR	横浜	7.9	5,620								
	横浜	私鉄	みなとみらい	1.7	180								
	みなとみらい	私鉄	横浜	1.7	180								
	横浜	JR	新横浜	7.9									
	新横浜	JR 新幹線	名古屋	366.0	5,620	4,630							
	名古屋	近鉄	伊賀神戸	112.2	1,560	1,320							
計					円	円	円	円	0	円	円	合計	
				14,720	11,900				0	0	0	26,620	

※特急料金・座席指定料金は、領収証等の添付が必要です。

※宿泊料(1泊2食付)は、上限額の範囲までの実費精算となるため、領収証の添付により額を確定します。

(宿泊料に食事代が含まれていない場合は、夕食代(1700円)、朝食代(900円)を上限額以内で加算)

領収書等添付用紙

議員名

西口和成

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)

領収証 西口和成 様 No. M0457

〒272-6011

但 11/7 - 東京横浜

収入印紙

2009年11月15日 上記正に領収いたしました

株式会社 ミヤギノタビレジャーベーション
MK ツツクス
〒518-0873 三重県伊賀市土野丸之内500
TEL 0595-48-7700 FAX 0595-48-7701

内訳	
現金	/
小切手	/
手形	/
消費税額等(%)	

コクヨ ワカ-92

領収証金額 27,260円のうち、復路の東京-新横浜間(640円)と
手配料 360円は請求しません。

